

平成18年度共同利用一覧

◆ 特定共同研究 (A)		(研究期間：平成18年4月1日－平成19年3月31日)			
(地震予知、火山噴火予知計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)					
課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	Project 名	報告書
2006-A-01	深尾良夫	海洋研究 開発機構	歌田久司	地球深部の構造とダイナミクス	
2006-A-02	歌田久司	地震研	歌田久司	海底ケーブルネットワークによる地球物理学的研究	
2006-A-03	加藤照之	地震研	加藤照之	GPSによる総合的観測研究	
2006-A-04	飯尾能久	京大防災研	加藤尚之	日本列島周辺域の応力場・ひずみ場に関する研究	
2006-A-05	大久保修平	地震研	大久保修平	サブダクション・ゾーン陸側の重力変化の追跡	
2006-A-06	金沢敏彦	地震研	金沢敏彦 篠原雅尚	海域部総合観測によるプレート境界域におけるひずみ・応力集中機構の解明	
2006-A-07	上嶋 誠	地震研	上嶋 誠	マルチスケール比抵抗構造探査	
2006-A-08	岩崎貴哉 飯高隆	地震研	岩崎貴哉 飯高隆	総合集中観測による内陸域の歪・応力蓄積集中過程の解明	
2006-A-9	佐藤比呂志	地震研	佐藤比呂志	反射法地震探査による活断層の地下構造と長期間地殻変動	
2006-A-10	佃 為成	地震研	佃 為成	内陸直下地震の予知	
2006-A-11	茂木 透	北大院理	上嶋 誠	地殻活動に関連する電磁気観測	
2006-A-12	島崎邦彦	地震研	島崎邦彦	古地震	
2006-A-13	瀨瀬一起	地震研	古村孝志 山中佳子	地震破壊過程と強震動	
2006-A-14	吉田真吾	地震研	吉田真吾	地震発生の素過程	
2006-A-15	加藤尚之	地震研	加藤尚之	地殻活動予測シミュレーション	

2006-A-16	笠原敬司	防災科研	ト部 卓 鷹野 澄	地殻活動モニタリング手法の高度化	
2006-A-17	海野徳仁	東北大院理	鷹野 澄 佃 爲成	地殻活動総合データベースの開発	
2006-A-18	藤本博巳	東北大院理	佐野 修	新たな観測・実験技術の開発	
2006-A-19	渡辺秀文	地震研	森田裕一	火山体構造探査	
2006-A-20	渡辺秀文	地震研	渡辺秀文	特定火山集中総合観測	
2006-A-22	梅田康弘	京大防災研	佐藤比呂 志	大都市圏地殻構造調査研究・大深度弾性波探査（1）制御震源探査	
2006-A-23	笠原敬司	防災科研	平田 直	大都市圏地殻構造調査研究・大深度弾性波探査（2）自然地震探査	
2006-A-24	伊藤谷生	千葉大理	佐藤比呂 志	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（1）内陸活断層モデル化の研究	
2006-A-25	纈纈一起	地震研	纈纈一起	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（2）プレート間地震モデル化の研究	
2006-A-26	井出 哲	東大院理	宮武 隆	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（3）動的モデルパラメータの研究	
2006-A-27	山中浩明	東工大総合理工	古村孝志	大都市圏地殻構造調査研究・断層モデル等の構築（4）地下構造モデル化の研究	

平成18年度共同利用一覧

◆ 特定共同研究 (B)		(研究期間：平成18年4月1日－平成19年3月31日)				
(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)						
課題番号	新規・継続・最終年度の別	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
2005-B-01	継続	鍵山恒臣	京大・院理	森田裕一	カルデラの構造と活動そして現在－Out of rangeへの挑戦	
2006-B-01	新規	大島弘光	北大・院理	森田裕一	新世代無線通信データ伝送システムの開発	
2006-B-03	新規	平原和朗	京大・院理	川勝均 鶴岡弘	日本列島標準三次元構造モデルの構築	
2006-B-04	新規	新谷昌人	地震研	新谷昌人	地下深部における高精度観測・精密計測	
2006-B-05	新規	田部井隆雄	高知大・理学	大久保修平	フィリピン海プレート北端部の運動モデルの構築	
2006-B-06	新規	金子隆之	地震研	青木陽介 古屋正人	衛星リモートセンシングによる火山活動の解析	
2006-B-07	新規	本多嘉明	千葉大・環境リモートセンシング	安田敦	火口近傍の監視・計測プラットフォームの開発	
2006-B-08	新規	中川光弘	北大・院理	中田節也 吉本充宏	長期的火山活動評価の定量化	
2006-B-09	新規	佐野雅己	東大・理学系	栗田敬	地球現象における不均質構造形成原理の探究	
2006-B-10	新規	翠川三郎	東工大・総合理工	瀬瀬一起 鷹野澄	Seismic Kantoプロジェクトによる強震動総合研究の新展開	

平成18年度共同利用一覧

(研究期間：平成18年4月1日－平成19年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

課題番号	新規・継続・最終年度の別	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
2006-C-01	新規	山岡耕春	東京大学地震研究所	山岡耕春	防災研究フォーラム活動	

平成18年度共同利用一覧

◆ 一般共同研究		(研究期間：平成18年4月1日－平成19年3月31日)			
(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)					
課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
2006-G-01	三尾典克	東大・新領域創成科学研究科物質系専攻	新谷昌人	地殻変動観測機器用の光ファイバーリンク式レーザー光線の絶対波長安定化の研究	
2006-G-02	山本希	東北大・院理	鶴岡弘	広帯域地震観測による阿蘇山火山性微動のリアルタイム・モニタリング	
2006-G-03	金嶋聰	九州大・院理	川勝均	短周期地震アレイ連続観測による阿蘇山火山性微動の発生機構と火山ガス流の解明	
2006-G-04	大倉敬宏	京大・院理附属地球熱学研究施設	及川純	阿蘇火山における1HZGPS観測	
2006-G-05	杉本健	京大・院理附属地球熱学研究施設	中田節也	USDP-3コアを用いた雲仙火山の噴火史の解明	
2006-G-06	佐伯昌之	東京理科大学・理工・土木工学科	小国健二	1周波GPS受信機と無線ネットワークによる変位計測システムの高高度化	
2006-G-07	藤浩明	富山大・理	歌田久司	永年変化を含む太平洋広域地球磁場参照モデルの作成	
2006-G-08	里村幹夫	静岡大・理	加藤照之	東海地震想定震源域における稠密GPS観測に基づくスローイベントの詳細解明	
2006-G-09	山本順司	京大・地球熱学研究施設	中井俊一	海洋プレートの屈曲部で生じるマグマの活動源を探る	
2006-G-10	中島隆	産業技術総合研究所・地質情報研究部門	折橋裕二	島弧における大規模珪長質火成活動の継続時間と活動の変遷：西南日本白亜紀花崗岩類の例	

2006-G-11	松島健	九州大・院理・地震火山観測研究センター	渡辺秀文 及川純	伊豆鳥島火山の噴火ポテンシャルの研究	
2006-G-12	藤井郁子	気象庁地磁気観測所調査課	歌田久司	電磁気学的にみたフィリピン海の上部マントル大規模構造	
2006-G-13	小林茂樹	九州東海大・工学部・リモートセンシング学科	大久保修平	重力測定による日奈久断層周辺の地下構造の推定	
2006-G-14	山本圭吾	京大防災研究所附属火山活動研究センター	及川純	稠密地震観測データを用いた三宅島火山の地震学的構造解析	
2006-G-15	佐藤博明	神戸大・理	藤井敏嗣	新富士火山3000ybp以降の噴火機構	
2006-G-16	須田直樹	広島大・院理	鶴岡弘	2001年以前の低周波微動活動の解明	
2006-G-17	高橋嘉夫	広島大・院理	中井俊一	高感度XAFS法によるウランの状態分析法の開発～マグマの年代測定に利用される $^{238}\text{U}/^{230}\text{Th}$ 放射非平衡の起源の解明～	
2006-G-18	岩森光	東大・院理	折橋裕二	西南日本-韓半島の中生代-新生代花崗岩類の成因と大陸成長機構の解明	
2006-G-19	鈴木康弘	名大大学院・環境学研究科	岩崎貴哉	地形学的手法による糸魚川-静岡構造線断層帯の活動性の検討	
2006-G-20	木村学	東大・院理・地球惑星科学専攻	折橋裕二	付加作用の時定数の解明と沈み込み帯の物質フラックス	
2006-G-21	小川康雄	東工大・火山流体研究センター	上嶋誠	伊豆大島火山の繰り返し比抵抗構造探査伊豆大島火山の繰り返し比抵抗構造探査	

平成18年度共同利用一覧

◆ 研究集会		(研究期間：平成18年4月1日－平成19年3月31日)				
(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会。 開催場所は原則として地震研究所。)						
課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日	
2006-W-01	川崎 一郎	京都大学防災研究所	加藤照之	地殻変動連続観測の未来	H18.6月中旬	
2006-W-02	大村 誠	高知女子大・生活科学部・環境理学科	古屋正人	新世代の干渉SAR	H18.10.5-10.6	
2006-W-03	佐野 修	東京大学地震研究所	佐野 修	地殻応力の絶対量計測に関する研究集会	H19.3月8日－9日	
2006-W-04	熊澤峰夫	名古屋大学、静岡大学・理学部	佐野 修	地殻深部の能動的監視観測の実用戦略とその基礎研究	H18.8-H19.2の間 1-2日間の集会を2回予定	
2006-W-05	千田 昇	大分大学教育福祉学部	島崎邦彦	地震・津波の地形地質学的研究の最前線	H19.1.13	
2006-W-06	西上欽也	京都大学防災研究所 地震防災研究部門	山下輝夫	リソスフェアにおける短波長不均質構造の解明-地震発生場の構造特性の解明に向けて-	H18.10.3-10.4	